

KSKQ

かがやき



KAGAYAKI KOBE

■目次■

P1「理事長新年の挨拶」 P2「支援する会
会長新年の挨拶」 P3「『かがやき神戸に出
会って～職員の思い』」 P4・5「2022 年新
年の抱負」 P6「法人・支援する会のうご
き」 P7「支援する会たより」 P8「会費納入
を頂いた方・お願い・編集後記」

【付録】かがやきセミナー案内

機関紙アンケート



新年あけまして おめでとうございます

社会福祉法人かがやき神戸
理事長 松原建二

支援する会の皆様におかれましては、新年をいかがお過ごしでしょうか。かがやき神戸におきましては、何とか感染者を出さずに来れた事にホッとしています。皆様から物心ともにご支援いただいたおかげで新年を向かえることができました。本当にありがとうございました。本年も、よろしくお願い申し上げます。

去年は、第3期将来構想の一番大きな計画である「重い障害のある方の住まいの場づくり」の具体化が進んできました。車いすの方の住まいの場は、介護用のトイレやお風呂などの設備、廊下幅やエレベーターなど通常の住宅改修では難しく、新たに建設する必要があります。また一定の規模でないとマンパワーを確保できないため、建物も大きくなります。

候補地を探し始めましたが、候補地が出てくれども条件が合わず次の場所を探しています。あきらめずに粘り強く探しているところです。本来であれば、土地探しと並行して、他事業所の見学をしながら新しい住まいの場のイメージづくりをしたいところです。しかし、新型コロナウイルスの影響で、遠方の見学が難しく、近隣で見

学を受けていただけるところだけにとどまっています。建設資金については、大枠の金額が見えてきました。今の試算では、少なくとも1億円は作り出さないとけない見通しです。

越えなければならないハードルはどれも高く乗り越えるのは困難ですが、利用者の「家族と離れても安心して地域でくらしたい」という思いを実現するために前進できる年にしたいと思います。

新型コロナウイルスの状況はまだまだわかりませんが、やれることからやっていこうの精神で、将来構想実現に向けて動いていきますので、皆様におかれましてもご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

(理事長画作：正木明男)





障害者福祉は公的支援が 当たり前の社会に

社会福祉法人かがやき神戸を支援する会
会長 池山美代子

かがやき神戸を支援する会の皆さま、新たな年をどのような想いでお迎えのことでしょうか？

コロナという未知のウイルスによって、この二年間不安や恐怖や混乱で翻弄されましたね。昨年秋からようやく感染者数が減少傾向になっていますが、まだまだ先が見えないのも事実です。そのような状況でも、かがやき神戸の利用者さんや、職員の皆さんのたくましく元気に活動されるお姿から、元気と勇気をもらって来ました。

さて、去年は衆議院選挙が行われましたが、皆様は納得いく選択が出来ましたでしょうか？かがやき神戸の管理職の皆さんも「ぜひ、投票に行きましょう！」と職員さんや利用者の皆さんに呼び掛けたと聞きました。とても大切な事だと思います。なぜなら、障害者や高齢者の福祉は国の政策に直結しているからです。

私は長年、病院・高齢者施設・障害者福祉の分野で働いてきました。消費税が始まった32年前には、特別養護老人ホームで働いていました。消費税の導入の理由が「社会保障の充実」でしたが、現場にいて社会保障充実の実感がありませんでした。その後も消費税は、どんどん増えて10パーセントになる現在まで、福祉は後退こそしても充実していかない現状に憤りを覚えます。

阪神淡路大震災の時は、無認可の小規模作業所で障害のある方々と働いていました。無認可であるがゆえに公的支援のない事に怒り、支援者の方々と社会福祉法人かがやき神戸を立ち上げ、なでしこの里・虹

の里の施設建設、その後の運営に携わってきました。その施設建設でも、土地探しから資金づくりまで大変な苦勞をしました。

それから、20数年が経ち、施設利用者やご家族も高齢化してきました。昼間は施設利用されていても、家庭での介護には限界がきています。障害者、家族の願いに応えようと、かがやき神戸は、重度重複障害者対応のグループホーム建設を目指していますが、法人を立ち上げた20数年前以上の困難に直面しています。

先日、家族会の役員さんから「家族が倒れるのが先かグループホーム建設が先か。まだ自分が動ける間に後見人のことをなんとかしたい。今後のことを考えると不安で体調に悪い」など多くの家族が心配や不安を抱えておられるとお聞きしました。障害者の安心安全な生活は、公的な保障が無ければ自己責任だけでは実現しない、障害者を支える施設関係者の努力だけでも実現しないと実感しています。施設運営を次世代に引き継ぎましたが、変わらない福祉現場の大変さに胸が痛みます。

障害者、高齢者など社会的弱者の方々が安心して暮らせる社会が、誰にとっても安心して暮らせる社会だと思います。それはかがやき神戸の理念でもあります。

今年も、皆様と共に「障害者福祉は公的支援が当たり前の社会に」と声を上げ、頑張りたいと思います。ご支援よろしく願いいたします。



「かがやき神戸に出会って」～職員の思い～



のびのびホーム

くさか ひろこ
日下 浩子

こんにちは。私は主にさわやかホームとほのぼのホームの支援に入らせていただいています。私が「かがやき神戸」に出会ったのは、もう12年程前です。

「よさこい」に月1度、地域の参加者として練習させて頂いたことからです。「よさこい隊」が解散してから何年かが経ち、「グループホームってどんな場所なんだろう？」と気になり始め、食事作りとして働かせて頂くことになりました。女性4名のホームで、個性的な方々でした。皆とても仲良く過ごしているかと思えば、急に言い争いになり、この状況をどうにかしないと・・・と始めは驚く場面も多かったのですが、「今日は仕事で何かあったのかな？」「自分の思うようにいかずイライラしているのかな？」と食事を作りながらその方の気持ちを考えられるようになり、止めに入ると言うよりは暫く様子を見てみよう、長く接するうちに一歩置いて見られるようになって来ていました。

ホームだけでなく、地域活動支援センター「ひだまり」やショートステイ「とまり木」にも支援に入らせて頂きました。「ひだまり」では利用者さんが物を作る真剣な眼差しや、やり遂げた達成感からの笑顔がとても印象的でした。時間に追われる日々の中、私の心を和ませてくれるものもありました。

「とまり木」では言葉での呼応がない時もあります。ですが、何度か接するうちに目や心でコミュニケーションが取れ、私の話しかけに反応してくださった時には、と

ても嬉しく思い、これからも色々な事を話してもっとコミュニケーションが取れるように頑張りたいとも思うようになりました。現在の支援は男性4名と女性2名のそれぞれのホームですが、よくハプニングも起こり困る事もありますが、皆で楽しく協力しています。今後も相手をもっと知りたい・寄り添いたいと思いながら、一人一人とのコミュニケーションを大切にしていきたいと思っています。



グループホームにて。
仲間と過ごすひととき。



新年号恒例！「今年の抱負」2022年



今年も「ひだまり」で友達をつくって、仲良くすごしたいです。
わたしはオリックスの大ファンなので、また優勝してほしいと思っています。
ひだまりの新プログラムで美容(ネイル)やヨガがはじまったので、これからも参加して、楽しみたいと思っています。



ひだまり
広田 和子さん



つくしんぼ
堀美千代さん／堀幹尚さん

こんにちは。つくしんぼの堀幹尚と母です。青空班に通い始めて、もうすぐ1年となります。なかまのみんなも職員さんも楽しい人が多くて、いろいろな仕事ができ、いろいろな事があって、帰りの車の中ではしゃべり続けています。
くろーばあのミックスジュースがお気に入り、次は新しくできたカレーを食べたいみたいです。これからも楽しく元気に通いたいの、親子共々どうぞよろしくお願いします。

今年是一年を通して、厨房でケガをしないようにして、与えられた仕事をきちんとこなしたいです。そして、ずっと行かなかったガイドヘルパーさんとの外出も行きたいです。

新年明けましておめでとうございます。
私には、もうすぐ2歳になる孫がいます。今年は孫と沢山遊びたいと夢を膨らませています。動物園や四季折々の植物園に出かけることもしたいです。
外出が少しでもできるよう、コロナが落ち着くことを願います。



だんだん
北村 浩一さん



だんだん職員
福田 郁子さん
(仲間とよもぎ作業中)



虹の里
井村 耕太郎さん

2021 年はバセドウ病にかかりました。それを踏まえ 2022 年の抱負は、健康に留意し、岩手・陸前高田市で行われる予定のきょうされん全国大会に参加することです。コロナの影響で 2 年現地に行っていないので、楽しみにしています。大きな病気にかかることなく、平穏に過ごせたら良いなと思います。また、振り返った時に最高の 1 年にしたいと思います。
良い 1 年にするぞー！頑張ろう！！

僕はミニなでしこで厨房と喫茶作業に入っています。厨房ではいろいろな切り方を覚えていきたいです。炒めたり、味付け出来るようになりたいです。喫茶のドリンク作りも覚えられようになりたいです。身体の骨が弱いため骨を強くしたいです。一人暮らしをして自由に暮らしたい。時間が自由に使えるので。



ミニなでしこ
馬場 久幸さん

北見と申します。一番下の子が幼稚園に入ったのを期に、なでしこの里のクッキー室で仕事をさせていただいています。失敗もありますが、皆さんに助けていただきながら仕事をする日々です。

2022 年の抱負

- ①仕事での失敗を減らす
 - ②子供をできるだけ怒らない
 - ③運動不足を解消するぞ
- 皆様にとっても、素晴らしい一年になりますように！

息子は現在、かがやき神戸のグループホームで生活しています。息子の状況を確認するために、なでしこの里に電話して、よく話しをしています。今年料理を作ることを頑張ってみたいです。そして息子と一緒にバスに乗って三田の街で買い物を楽しみたいです。



なでしこの里職員
北見 絵美さん



なでしこの里家族
多田 紀子さん

法人・支援する会の動き 2021 年 9 月～11 月

9 月 4 日 新人職員研修

オンラインで新人研修を行いました。
午前中は北家族会の会長より、親としての思いと自立支援訴訟の事をご講義頂きました。午後は障害についてとクラウン土曜日の天使達についての講義がありました。

9 月 10 日 支援する会 運営委員会

かがやきセミナーやウォーキングイベント、夢追い人たちのつどいについて話合いました。

10 月 6 日 支援する会 事務局会議

かがやきセミナーやウォーキングイベントについて詳細の打合わせをしました。

10 月 13 日 理事会

第1号議案 2021 年度補正予算について
第2号議案 給与規定の改定について
第3号議案 将来構想の進捗について
第4号議案 評議員会の議案について

10 月 16 日 新人職員研修最終日

午前中は就労支援と生活支援について学びました。午後からは第3期将来構想について理事長より説明がありました。

10 月 29 日

きょうされん全国大会オンライン

法人で複数の拠点を作り、参加しました。

10 月 30 日

支援する会 ウォークイベント かがやきの森散策

総勢 23 名が集まり、つくしんぼの西側の山を散策しました。

11 月 4 日 臨時理事会

第1号議案 将来構想の進捗について

11 月 5 日

土曜日の天使達プロモーションビデオ完成・公開



プロに作ってもらったクラウンの紹介動画が公開されました。是非、HP をご覧ください。

11 月 6 日

支援する会 ウォークイベント 明石公園散策

22 名の方が参加されました。ガイドさんが丁寧な説明をしてくださり、明石公園の新たな一面を知る事が出来ました。

11 月 7 日 職員募集のチラシを新聞 折り込にいれる

34,000 枚のチラシを新聞折り込みにいれました。

11 月 11 日 評議員会

第1号議案 2021 年度補正予算について
第2号議案 給与規定の改定について

かがやき神戸を支援する会主催

「フレイル予防イベント」報告



かがやきの森散策

10 月 30 日 (土)、すばらしい秋晴れの天気恵まれて「かがやきの森散策」を行いました。まず、午前 9 時谷上駅に参加者 10 名が集まり、北施設に向けて山田道をハイキングしました。そろそろ紅葉が始まりかけた山道 1.8 キロを途中谷川を渡るときはちょっと緊張しながらも、30 分ほど歩きました。皆さんしっかりした足取りで、怪我もなく元気に完走できました。

施設で 13 名の参加者が合流し、総勢 23 名が簡単に自己紹介した後、10 時から「かがやきの森」を散策しました。約 1.6 キロのよく整備された里山の小径を 40 分ほど散策しました。参加した子供さんは山栗やドングリを拾ったり楽しみながらも先頭でどんどん歩いていました。

コロナ禍でなかなか外出しづらかったので「一年ぶりに山歩きした」という方もおられました。とても気持ちのよいウォーキングができた半日でした。

(平尾)



明石城・明石公園ウォーク

11 月 6 日 (土)、申し分のない秋晴れの下「明石城・明石公園ウォーク」を行いました。午前 10 時明石駅に参加者 22 名が集まり、2 組に分かれそれぞれにボランティアガイドさん 1 名についていただきました。明石公園では菊花展や家族連れのイベントもあり大勢の人出でした。ガイドさんの説明を聞きながらゆっくり明石公園を散策し、そのあと明石城に上がって 1 時間半 (約 2 キロ) のウォークを楽しみました。

ガイドさんの案内で、普段は気がつかないような景色や見物ポイントを教えてもらいました。例えば、巽櫓 (たつみやぐら) と坤櫓 (ひつじさるやぐら) の両方が水面に映る藤見池、城に上がる途中のハートマークのある石、明石海峡を見渡せる展望台、剛ノ池を見下ろすフラワーガーデンなどなど。参加者からは「明石に住んでいるけど知らなかった」「公園にはよく来るけど見たことがない景色だった」という感想が聞かれました。

ボランティアガイドさんのお陰でとても楽しく学べたウォークでした。

(平尾)



支援する会に会費を 納入いただいた方

(2021 年 6 月 24 日～9 月 29 日までに更新
／入会された方 順不同・敬称略)

麻田和久、麻田サチ子、池内英理子、中村静、
千葉恒世、千葉眞弓、千葉陽平、松本多仁子、
清水敬一郎、佃隆子、谷合公江、佐竹久仁子、
佐竹秀雄、松本堯久、神尾忠、松下賢樹、
平井加奈子、豊田悦子、足立香織、林福子、
山本隆文、木村奈津子、尾中雅之、正津房子、
池内鶴代、蜂谷紀之、道満俊徳、足立恵、
水島良岳、高原みゆき、高原一典、政田順子、
安田耕平、高垣文江、繁田勝博、高田喜代美、
平山慎子、大竹彬、岩本幸子、前田かおり、
武村厚志、關悠一郎、關妙子、武内翔太、
福田郁子、小田眞美、小野康子、佐々木妙、
高村麻貴、澁谷浩子、土谷龍一朗、馬越美貴、
内野たまき、山本眞由美、宮下一子、赤松和枝、
井高朱美、赤峯史子、東田眞弓、松原耕一、
松原孝夫、松原眞智子、稲村良夫、光岡留美子、
千住洋子、榊山登志子、山野由美子、谷本竜也、
坂井まち子、松田崇介、松尾秀克、竹内孝幸、
福島神経科クリニック 福島正人、堤年子、佐和良一、
成川吾郎、藤原寛三、酒井信一、足立将太、
坂野公彦、土山一輝、前羽啓男、前羽文、
井上幸雄、長谷川洋子、神田ふさ子、野嶋納美、
野嶋美佐子

ご協力ありがとうございます

(すでに更新された方で、お名前の載っていない
方は次回掲載させていただきます)

2022年1月号 (No.93)
編集人：(社福)かがやき神戸を支援する会
定価：1部50円
事務局：神戸市北区山田町下谷上字西丸山
20-30 (かがやき神戸北事務所)
TEL：078-582-5544
FAX：078-582-5526
発行人：関西障害者定期刊行物協会
大阪市天王寺区真田山町2-2
東興ビル4F



☆会費納入のお願い☆

●社会福祉法人かがやき神戸を支援する会の
2021 年度会費(2021 年 4 月～2022 年 3 月)納入
をお願いいたします。

★ かがやき神戸を支援する会 2021 年 年度会費 1000 円 ★

会費振込先(郵便振替)口座記号口座番号：
00930-1-67354
加入者名：社会福祉法人 かがやき神戸を
支援する会

かがやき神戸

検索

かがやき神戸のホームページも
ご覧ください！！



【編集後記】

新しい年が始まります。本年も皆様方に、楽
しく充実した内容の紙面をお届けできるよう
に頑張りますので、よろしくお願い致します。

さて昨年は大谷翔平選手が、野手と投手の二
刀流で大活躍しました。その活躍に対して、イ
チローさんがコメントを発表しました。その中
で印象に残っている一節があります。「考え方
はさまざまだろうが、無理はできる間にしかで
きない。21年のシーズンを機に、できる限り
無理をしながら翔平にしか描けない時代を築
いていってほしい」という部分でした。私たち
福祉施設の職員は、利用者に対しては「出来る
だけ無理をしないように」というスタンスが基
礎になっている感じがします。もちろんそれで
いいのですが、時には施設外作業の繁忙期な
ど、状況に応じて「無理をする」ということも
視野にいれて、支援することも必要であると感
じました(高橋)